



≡ 国民・主権者は安倍改憲を許さない ≡

平和の中でともに生きること



入管法野党合同ヒアリング 2018.11.09

それが安全保障です

国会の中で大きな問題が取り上げられています。入管法（出入国管理法）改正案です。報道等でご存知と思いますが、外国労働者の受け入れに関する法律の改正です。目的は人手不足に対しての解決案として提出された法案です。5年間で最大34万人の外国人を介護、建設、農業、サービス業や多くの職業に雇用するという内容です。多くの

現在、日本には多くの外国人が暮らしています。多くの職場、職業で働いています。中でも技能実習制度のなかで働いている多くの若者が置かれている環境の劣悪さはこれもよく知られているところです。低賃金、長時間労働、職場環境、労働事故等で耐えきれず失踪してしまう人たちもいます。なぜ、こんなことが起きるのでしようか。それはあまりにも安易に労働力として利用してきた職場が少なくないという事にかななりません。今回もただ、人手不足

の穴埋めに利用するようなことがあるれば世界で信用を失うことになるでしょう。既に議論の出発点で大きな誤魔化しが明らかになりました。修習生の失踪原因を高賃金を求めてだと国会の資料に書かれていましたが、それは低賃金故にとりう項目を読み替えて出されたものでした。かつて「働き方改革」の審議でも裁量労働制の方が一般の労働時間より短いという資料を出した例があります。

国会の審議は誠実なものでなければなりません。そして誠実に、日本での労働を求めてくる皆さんに喜ばれ、母国での日本の評価が高まること、何がよりの安全保証になると思われます。高い武器調達費を支払うよりよほど世界の安全に寄与する事と思えます。

「目からうろこ」 太田昌国講演会 2018.11.25

録音 あります。 事務局まで 712294297

感想も。 「目からうろこ」との戦後、テロをなくすために国家が反テロ戦争をするのでは解決にならない。アメリカモデルではなく、戦争をしないと決めた別の社会のあり方を考えたい。 「目からうろこ」との感想も。

報告 "目からうろこ" 太田昌国講演会 2018.11.25



「憲法九条の平和主義を守るか」 野田中央公民館で開催



今月の予定です

皆さん 気軽に参加ください。



12月1日(土) 13:00～16:00

DVD上映とディスカッション 改めて考える「自衛隊明記の是非」 憲法九条 子どもの未来を語る会 榊のホール 研修室

12月3日(月) 13:30～16:00

30年近く土木工事に携わった 「奥間さん講演会イン野田」 奥間正則氏が辺野古新基地建設工事の現状と問題点について語ります。 榊のホール 研修室 沖縄とつながろう野田の会

12月8日(土) 13:30～16:30

野田・九条の会 12月例会 「日本会議、国会情勢」など懇談 「来年度の行動計画」について 中央公民館 講座室 野田・九条の会

12月9日(日) 13:30～16:30

無料上映会 & ディスカッション 「その時市民は軍と闘った(光州)」 「LGBT「オネエたちは闘った」」 南部梅郷公民館 南地域九条の会

12月9日(日) 16:00～17:00

9の日 9の日 行動 模擬国民投票と九条通信配布 梅郷駅 野田・九条の会

12月19日(水) 16:00～17:00

9の日 9の日 行動 模擬国民投票と九条通信配布 川間駅北口 野田・九条の会



◎ 今月のおしゃべりカフェはお休みします。◎



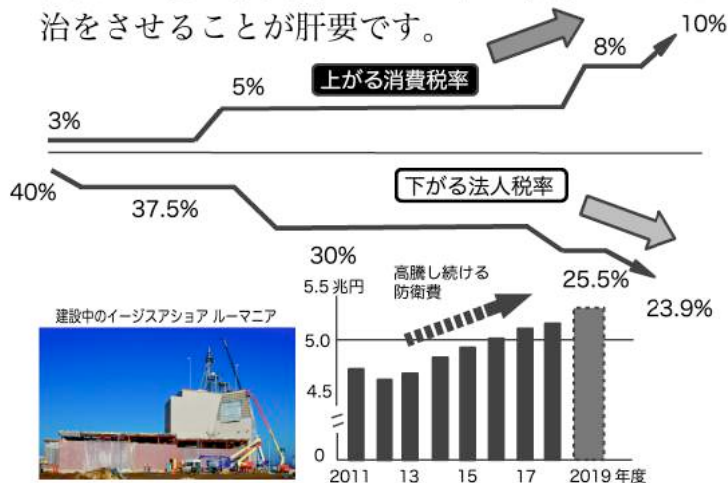
消費税は日々の暮らしに使うべき!

上がる消費税率、下がるは法人税 先月号では法人減税で減収となった国家予算を消費税が穴埋めしている実態をグラフで確認しました。この仕組みを大所から冷静にみるとなんのことはない私たちの所得が企業の懐に移しかえられているとも言えます。10%へ上がる消費税を尻目に、法人減税を更におこなうことは許せません。このところ各企業は空前の利益を上げているとの報道にそのことのみ注目しがちですが、企業利益は人々の働きがあったればこそであり、政府は国民に所得分配の役割を果たすべきです。

消費税率アップは財界優遇の不条理な仕組みであり、これを正すことは国民所得の向上へと変化し国内消費の向上、景気回復となります。

軽減税率に騙されない 10%実施へ1年を切ったいま、その内容をどうするか軽減税率が騒がれています。この話題に集中することは現政権にとって都合のいいことでしょう。「プレミアム付商品券」や「キャッシュレス決済でポイント還元」また飲食の仕方で負担が変わるなど戸惑わされますが、本題の税率上げをどうするか議論をするべきです。5%そして更に下げるとは、法人税率や高額所得者の課税改定で実現でき、暮らしの安心を取り戻せます。政権の争点逸らしには騙されないことです。

看過できない防衛予算 現政権の防衛予算高騰に歯止めがかかりません。北朝鮮の脅威、中国の覇権警戒を理由に米国武器の購入で、この先の国家予算5兆円を先食いしています。極東アジアの情勢は米朝会談で平和への歩みを模索しており、5千億円を超えるとも言われるイージスアショアの導入は疑問です。秋田、山口の計画基地はハワイ、グアム更に米国本土のミサイル飛行の直下であり日本の防衛だけとはいいいにくい。オスプレイ、巡航ミサイル、F35 戦闘機など全て有償軍事援助といわれる米国の言い値で買われます。私たちの納めた税は日本国民日々の暮らしにこそ使うべきです。毎日支払う消費税、その使われ方に関心を持ってしっかり国政を監視し、国民一人ひとりが納得できる政治をさせることが肝要です。



署名運動に取り組んでいます。

野田・九条の会賛同人 中村政子

戦争と平和どちらが好きですか？

と問えば誰でも平和と答えるでしょう。

私達はその平和を為政者によって破壊されるのを阻止する為に3000万人の署名活動を行なっています。ここに憲法九条の一項、二項を提示させていただきます。「戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認」とあります。この憲法九条は数百万人の人の命、数千億円の税金、他国領土の損壊、時間の浪費をして無条件降伏という最大の不名誉を代償としてやっと手に入れた宝です。「押し付けられた憲法」な

どと言ったら罰が当たります。この九条に守られて戦後73年間平和に暮らせたのです。私は子どもや孫に平和憲法に感謝する心を伝えなければならない義務の様な気持ちを感じ署名運動に精進する者です。安倍総理の掲げる改憲案（憲法に自衛隊を書き込む）は憲法九条の大切な一項、二項の効力が無くなる危険極まりない法案です。絶対阻止すべきです。署名にご協力をお願いします。

広島 1945年8月6日午前8時15分



The City of Hiroshima